

バイオイメーシングセンターセミナー

渡邊 朋信 先生

((独) 理化学研究所・生命システム研究センター・チームリーダー)

学生が生み出した最先端イメージング技術

日時：4月27日 金曜日 14時45分～
場所：柏キャンパス生命棟地下1階講義室
白金台キャンパス小講義室 (遠隔配信)

要旨：

光学顕微鏡技術は、ここ10年間に、生物物理学・細胞生物学に大きな貢献をもたらした。顕微鏡技術の発展に伴い、生物研究界に貢献した技術として、蛍光蛋白質が挙げられる。本講義では、顕微鏡技術と蛍光蛋白質を応用して、修士の学生が生み出した世界最高水準の計測技術を、原理から発想の流れを追いながら、紹介していく。本講義を通じて、学生ならではの柔らかいアイデアと研究戦略を学んで頂きたい。

参考文献：

1. Watanabe TM, Fukui S, Jin T, Fumihiko F and Yanagida T, Real-time Nanoscopy by using Blinking Enhanced Quantum Dots., *Biophys. J.*, 99, L50-52 (2010).
2. Watanabe TM, Sato T, Gonda K, Higuchi H, Three-dimensional nanometry of vesicle transport in living cells using dual-focus imaging optics (2007) *Biochem Biophys Res Commun.*, 359, 1-7.